

生物多様性国家戦略第2回小委員会



2021. 12. 17



(株)金沢大地

①私の生業について

- ・ ・ 農家の五代目、半農半漁の生業から

■有機栽培農家 井村 辰二郎(いむらしんじろう)■



金沢農業 代表

株式会社金沢大地 代表取締役
アジア農業株式会社(農業生産法人) 代表取締役
株式会社金沢ワイナリー(農業生産法人) 代表取締役
全国有機農業推進協議会 副理事長
公益社団法人日本農業法人協会 副会長 政策提言委員長
JONA NPO 理事
農林水産省 地球温暖化小委員会 専門委員
農林水産省 生物多様性戦略会議 専門委員
内閣府 規制改革推進会議 農林水産WG 専門委員

■略歴

- 1964年 石川県金沢市生まれ
- 1989年 明治大学農学部農学科卒業後、
地元金沢の広告代理店に入社
- 1997年 脱サラし就農
- 2002年 株式会社 金沢大地を設立
- 2009年 農業生産法人 アジア農業株式会社を設立
- 2011年 直営店「たなつや」を金沢近江町市場にオープン
- 2017年 農業生産法人株式会社金沢ワイナリーを設立

「千年産業を目指して」を理念に、石川県の金沢近郊と奥能登地域で環境保全型農業を営む。耕作放棄地を中心に耕し、日本最大規模の約180haの農地で、米、大豆、大麦、小麦、蕎麦、ハトムギ、野菜、ぶどうを有機栽培にて生産。自社有機農産物の加工・販売で、農業の6次産業化にも積極的に取り組む。2018年秋に、加賀・能登のテロワールを表現する金澤町家ワイナリーおよびフレンチレストランを開設。

■ 受賞歴

2008年 アグリフードEXPO輝く経営大賞(西日本エリア) 受賞

2009年 FOOD ACTION NIPPONアワード

プロダクト部門 優秀賞 受賞

2013年 平成24年度 中核農家経営改善

事業多角化共励会 優秀賞 受賞

2013年 全国優良経営体表彰 個人経営体部門

農林水産大臣賞 受賞

2014年 農林水産省「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定

2014年 農林水産祭 日本農林漁業振興会会長賞 受賞

2014年 金沢市農林業奨励賞 受賞

2015年 ITJapanAward2015特別賞 受賞

2016年 平成27年度 青少年の体験活動推進企業表彰

文部科学大臣賞(中小企業部門)受賞

2017年 金沢市食品衛生協会「平成29年度

食品衛生衛生功労者・食品衛生優良施設表彰」

石川県知事表彰 受賞



金沢大地のご紹介

- 「千年産業を目指して」
環境保全に配慮した有機農業を実践
有機農産物・加工品を全国に販売



- 農地180ha
耕作放棄地を中心に開墾
 - 河北潟干拓地
 - 輪島市門前町山是清
 - 珠洲市八ヶ山



河北潟干拓地

■昭和38年に着工、以後23年の歳月と300億円の巨費を投じ、1,390ヘクタールに及ぶ大地が誕生しました。米を作る目的で計画された干拓事業が、水田計画から畑作計画に移行した。水田に適した干拓地を水、はけの良い畑にするために、ポンプの能力アップ、暗渠排水・整地が行われ、21,400トンの石灰・燐酸が投入された。暫定農業が開始されたのは昭和54年。

河北瀉干拓地



現在の干拓地と、昭和初期の漁業風景

干拓の野鳥達



こみみずく



大豆刈り取り時のコンバインから
野鼠を狙うミミズク

干拓の野鳥達



不耕起田のシギ



鴨池で二番穂を食べる鴨達



稲を運ぶ板舟 ～昭和30年代半ばの舟入り川～



埋立て前の舟入り川の風景



かつて八田川沿いの用水路に群生した「ホテアオイ」(ガメヅラ)



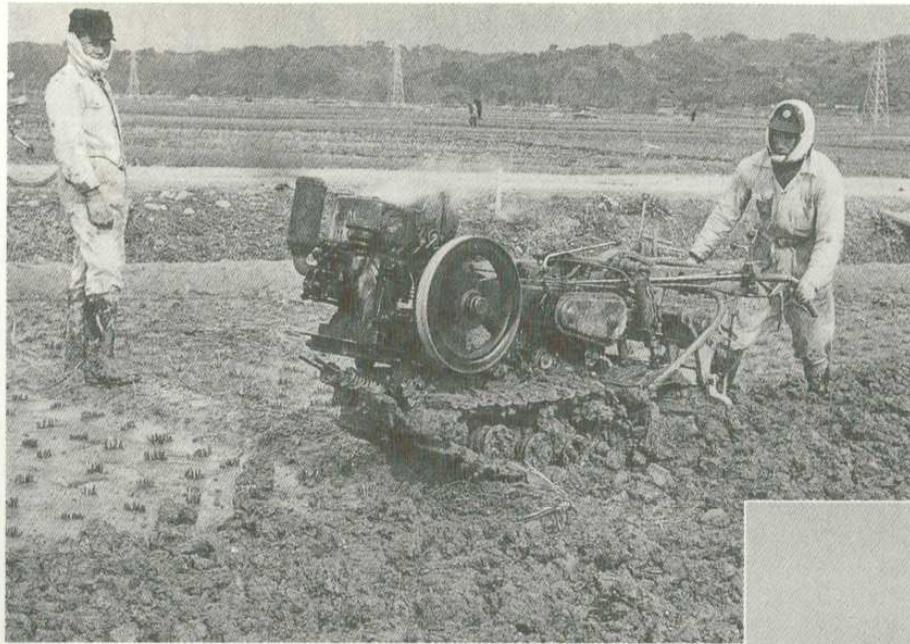
漁の帰り ～昭和30年代～



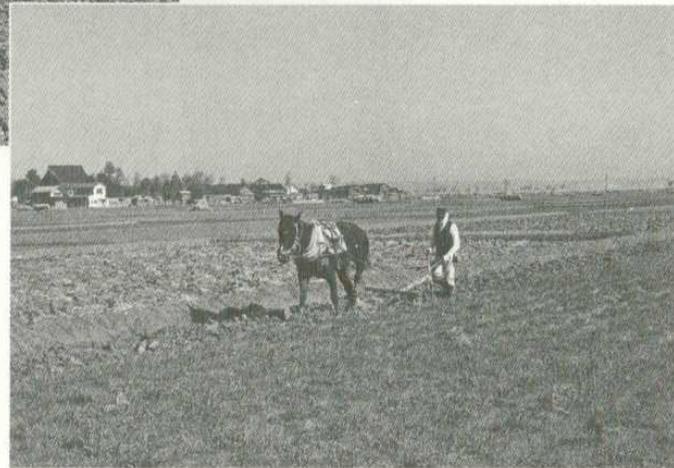
河北潟での舟遊び「ひし取り」～昭和32年頃～



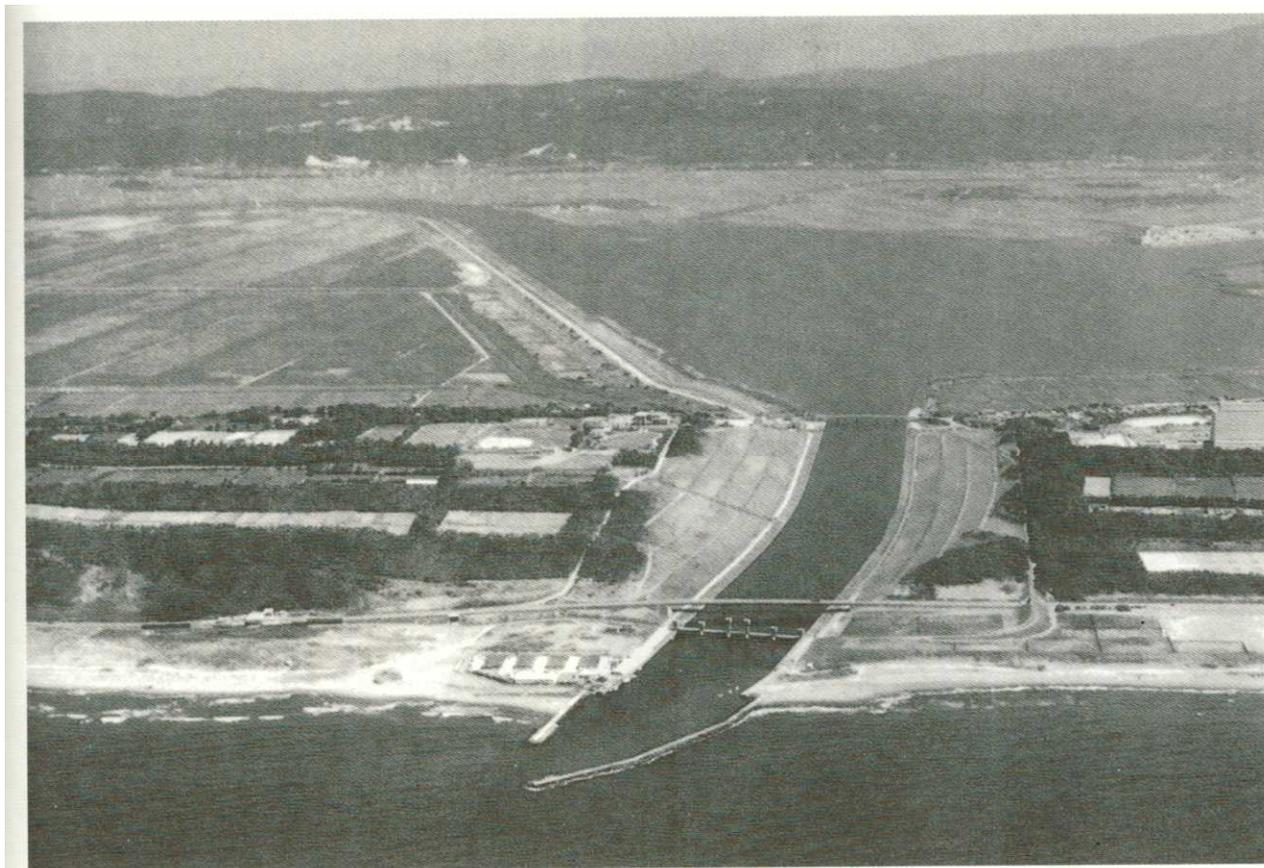
水揚げを終えた漁師たち 背景に八田の民家がみえる ～昭和30年代～



昭和30年代半ば頃



昭和30年代初め



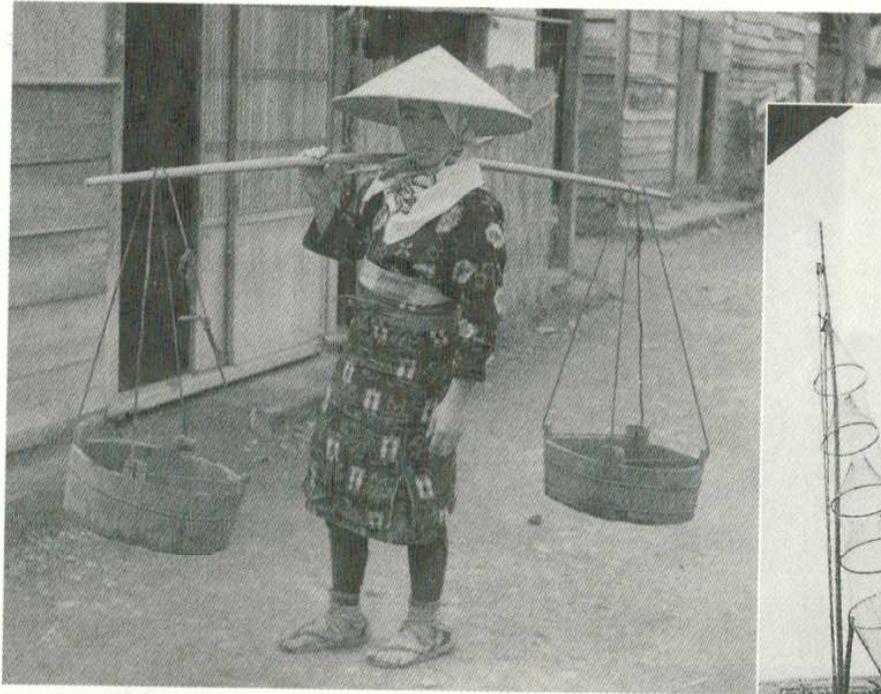
内灘放水路より河北潟と干拓地をのぞむ ~昭和60年~



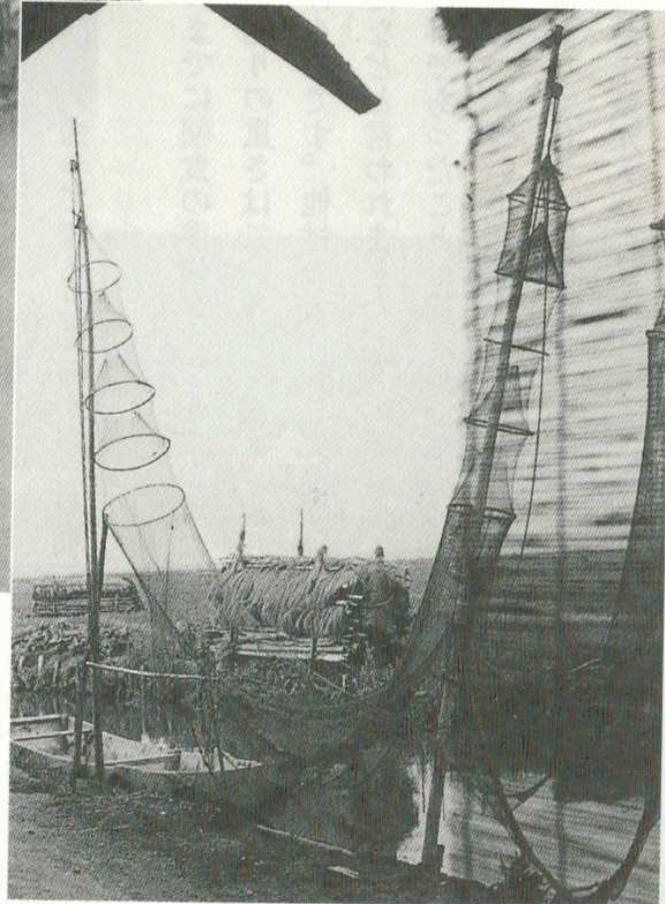
投網漁 (狩打ち)



八田漁業組合の養魚場 年末の市場へ出荷する鮎と鯉 ～昭和32年12月末日～



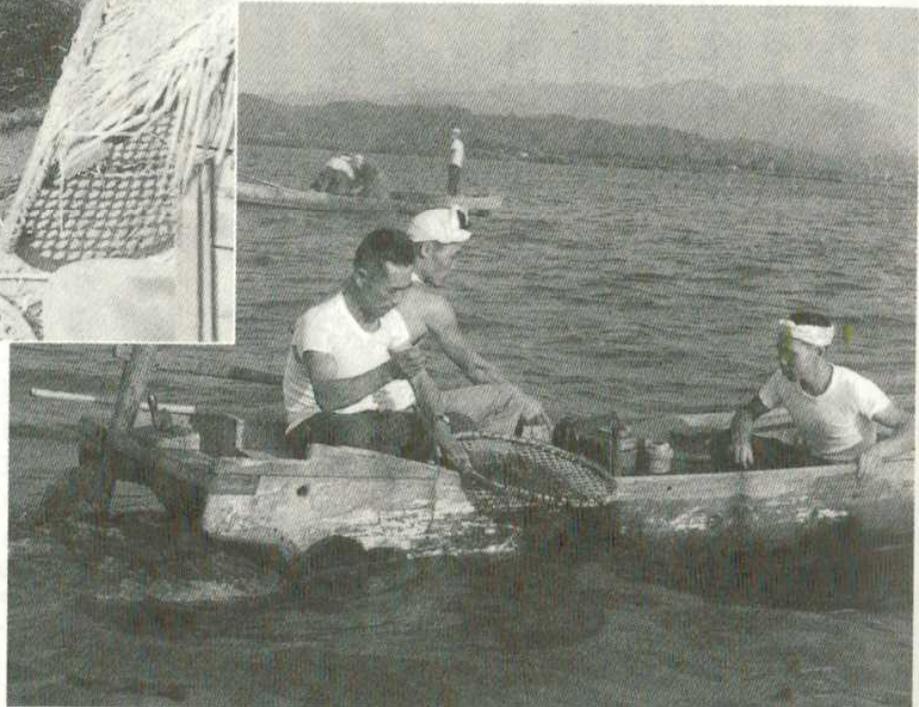
「とと売り」の「とと」は魚を意味する八田の方言
～昭和30年代初め～



漁網を干す「アダナ」
「網干し棚」は孟宗竹に木製の滑車を付けたもの
アダナ

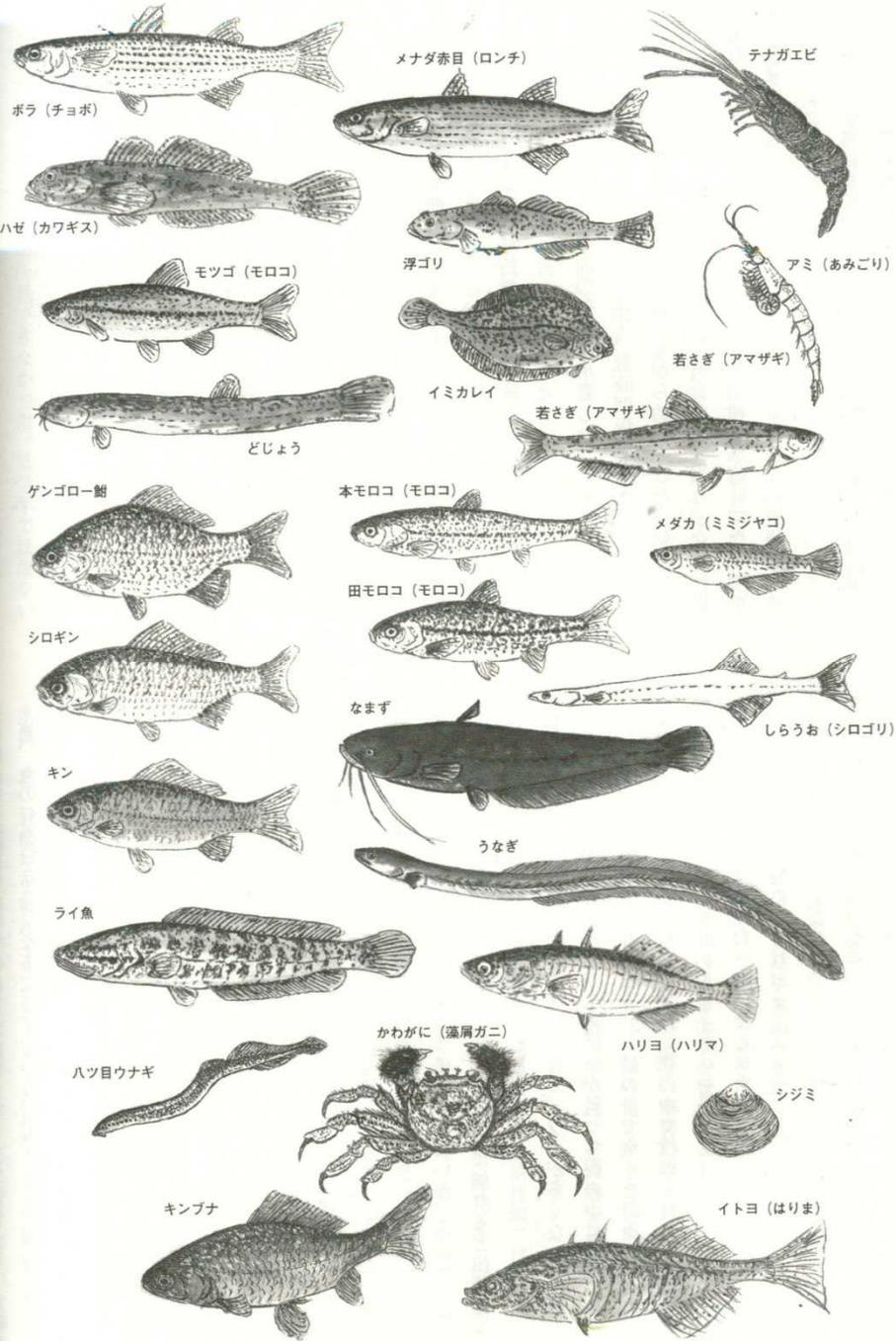


鰻釣りの糸繰り
男たちが潟から回収してきた
延縄を整理する作業



鰻釣りの縄を延えているところ ~昭和30年代はじめ~

河北潟の魚・貝 (中野一二三・前川章によるイラスト)





ハッタミズを観察する児童＝森本小
(c)北國新聞



http://k-daichi.cocolog-nifty.com/imura/2006/05/post_144f.html

②ビジョン・理念について

- ・ 1997年就農時に描いたビジョン

経営理念

- 「1000年産業を目指して」

未来永劫継続できる産業でなければならない。専業農家として、農業を健全な経済活動と考え、安全で生態系に優しい、環境保全型農業による農産物の安定供給を目指す。

1. 環境にやさしい(外部経済も大切)

- 化学肥料の多投による窒素流失・表土の流失砂漠化

- 水資源の枯渇(農業の多目的機能)

- 環境ホルモンなど人類・生態系への影響

2. 経済性を重視する

- 自立した事業体として経済性を重視・国際競争力

私たちのphilosophy

グループの経営理念は「千年産業を目指して」

1、「持続可能性」(Sustainability)

2、「生物文化多様性」

(Biocultural Diversity)

持続可能な社会の一員として、グローバル化の中でも、有機農業を基盤とした、地域の創成を目指します。

※ Think Globally, Act Locally

Think Locally, Act Globally

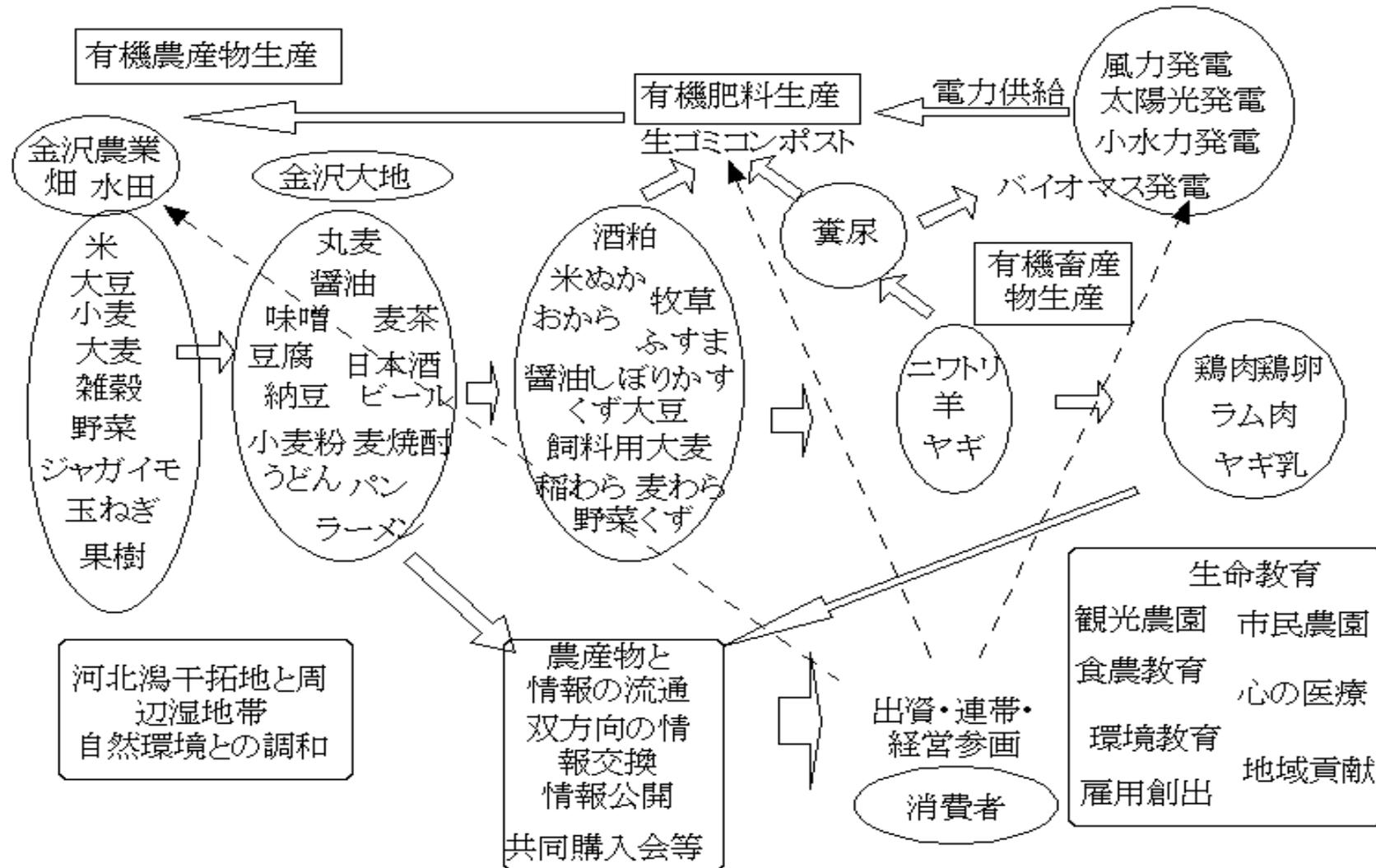
「地球規模で考え、足元から行動せよ」

「地域を理解して、世界に向けて行動せよ」

私たちのミッション

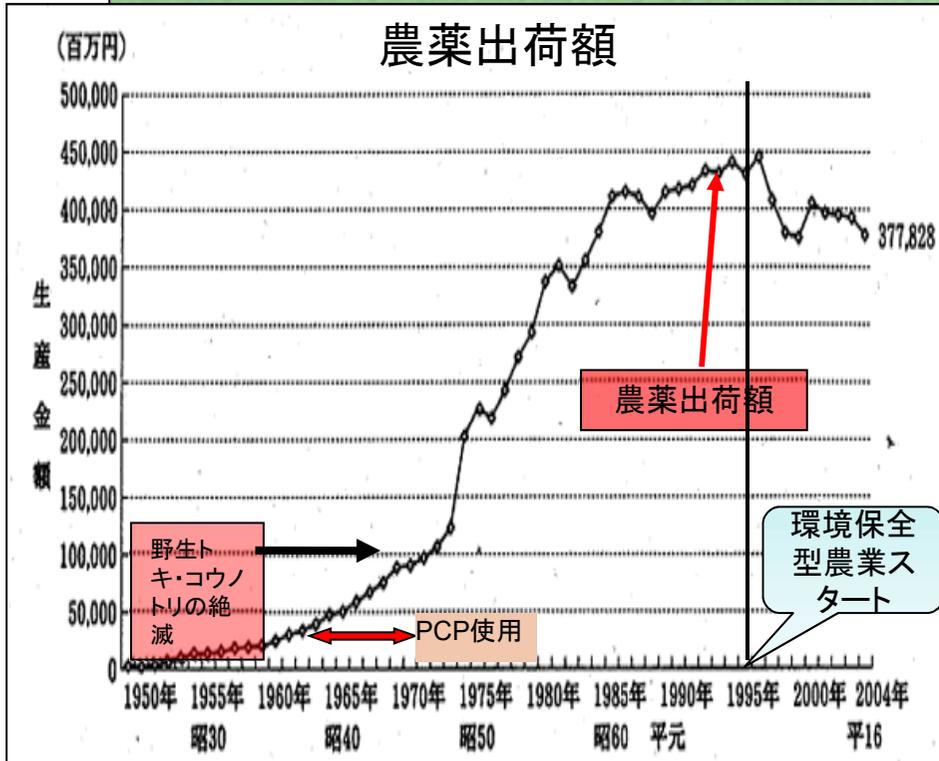
- 1、日本の耕作放棄地を積極的に耕します
- 2、有機農業を通じて、日本の食料自給率の向上に貢献します
- 3、新規就農者等の研修、受け入れ及び育成を行います
- 4、農産業を通して、地域の雇用を創造します
- 5、農業を通して、東アジアの食料安全保障に貢献します

就農時思い描いた設計図



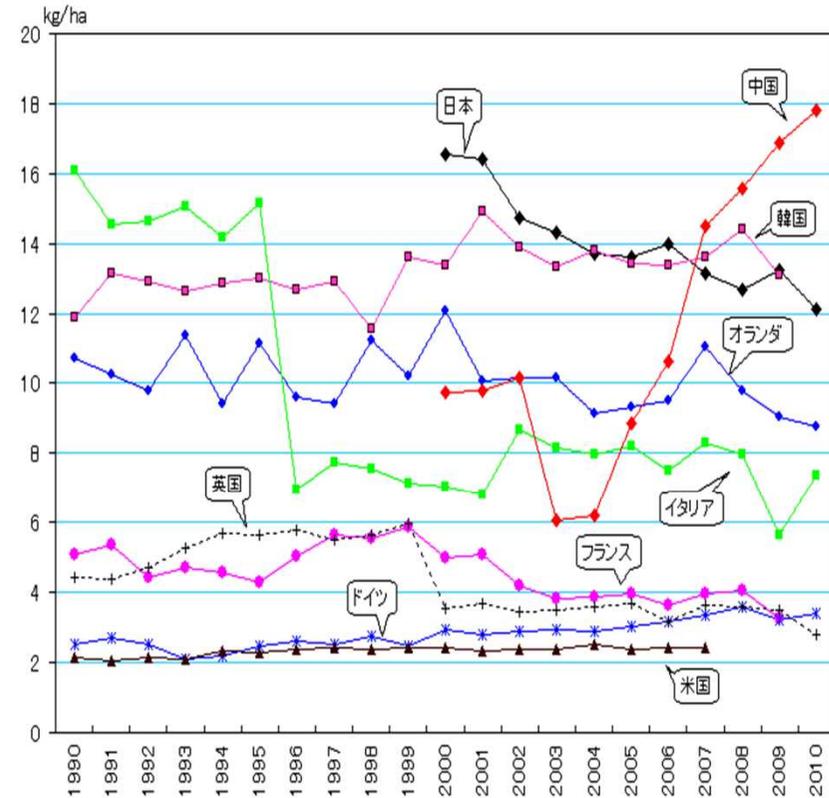


近代農業は日本の豊かな自然を否定し化学肥料の大量投入と農薬の過剰使用で貴重な野鳥たちを失った。
 環境保全型農業で回数は減ったが効果が強められ、沈黙の春に



- ① 農薬がなければ農業は出来ないという神話
- ② 田植機の普及で世界一の農薬使用国に
- ③ 殺虫剤は浸透性の神経毒性農薬(脳毒剤)に
- ④ 環境保全型農業の推進で残効性の長い農薬が普及
- ⑤ 使用制限を決める農協も出てきている。

主要国の農薬使用量推移



(注) Active ingredient use in Arable Land & Permanent Crops (耕地面積当たりの有効成分換算農薬使用量)。農薬は農業用のみ(林野・公園・ゴルフ場など非農業用の農薬を除く)。

(資料) Faostat 2013.8.4

主要国における農薬集約度ランキング

kg/ha 耕地面積当たりの有効成分換算農薬使用量(国名のあとのカッコ内はデータ年次)

本年3月上旬に能登に飛来したトキと コウノトリ



有機農家冥利



有機農家冥利



激変する生態系



激変する生態系



来年は来てくれるのだろうか？



コウノトリの巣塔も立ちました



金沢大地「の」とプロジェクト」

- のと蕎麦の開発・ブランド化
- のとじゃが(赤土じゃがいも)のブランド化
- 農場での自然エネルギー開発と消費者の連動
- エコ・グリーンツーリズム(農家民宿による修学旅行生の受け入れ・有カバイヤーの「おもてなし」)
- のと納豆・のと豆腐の開発販売
- のと産オーガニック大麦を原料として焼酎の仕込み

生業の創出

輪島市門前町山是清、珠洲市八ヶ山の
耕作放棄地を開墾し有機栽培で生産した
「珠洲そば・大麦・大豆等」による
新しい能登ブランド商品開発事業

耕作放棄地の開墾

- 情報収集・照会の段階
- 平成24年度以降、耕作放棄地のさらなる再生、
新たな雇用創出を目指す (目標: 現在35ha → 10年後に65ha)





門前山是清の蕎麦畑









金沢大地の新しい能登ブランドの ロゴマーク開発



能登ブランド展開例



ブランドマーク

「オーガニック能登そば」 新発売



1袋(100g×2) 500円



農産工房
金大地
Produced by Shinjiro Imura



のと蕎麦の生産ブランド化

「のとじゃが」のブランド化



ブランドマーク

山にやさしいは、
海にやさしい。
能登半島赤土育ち

ブランドフレーズ

高品質な赤土じゃがいも



能登の赤土で栽培するジャガイモ



門前山是清のジャガイモ畑

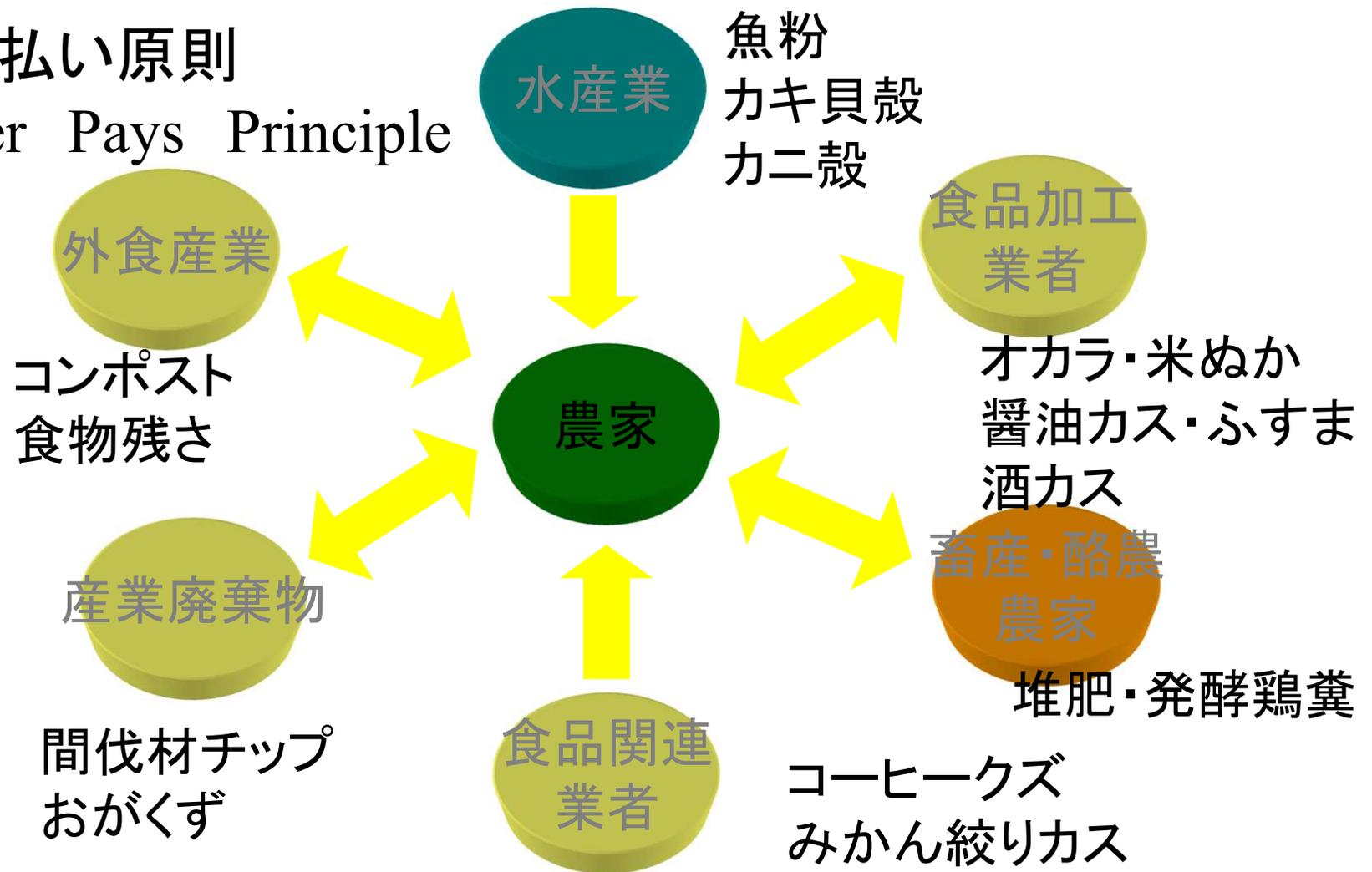
地域の区長さんから歴史を学ぶ





有機系産業廃棄物の農業利用

PPP支払い原則
Polluter Pays Principle



レインボーコンポスト製造プラント



ダンプベッセルによる運搬



トラックユニックによる



自家製堆肥の微量散布風景

